ハツコミフラワーコミックス

# ソラロク

1

みつきかこ

# ソラログ
1
みつきかこ

＊ベツコミフラワーコミックス＊

# ソラロク 1

みつきかこ Kaco Mitsuki presents

# ソラ・ロク 1

## CONTENTS

0話／ウワサ——3

1話／ウラ・オモテ——54

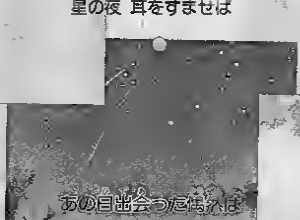
2話／キラキラ——99

3話／スキ・コワイ——145

いつから同じ空を見上げていたんだろう

なみだを宙に映して

星の夜 耳をすませば



あの日出会った偶然は

運命というのかもしれない

# プロローグ

## 0話／ウワサ

# ごあいさつ

はじめましての方もそうでない方も こんにちは！
みつきかこと申します。
この度は私の11冊目の単行本をお手に取ってくださり 誠にありがとうございます。

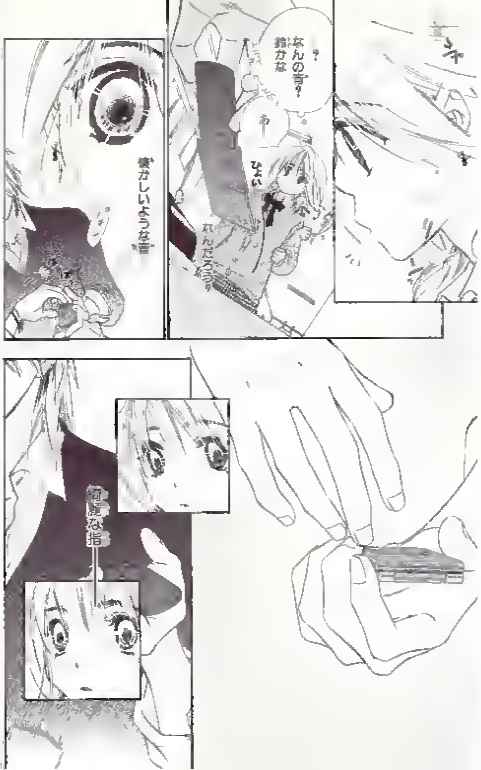
今作は 過去作 甘さひかえめ（当社比）です
そこはかとなくマイナスな天文風味のお話です。
この本を見て 最近などで通る 遥 まで観望な
星々星とかを 空と見上げてくれる方が
いてくれたらいいなが

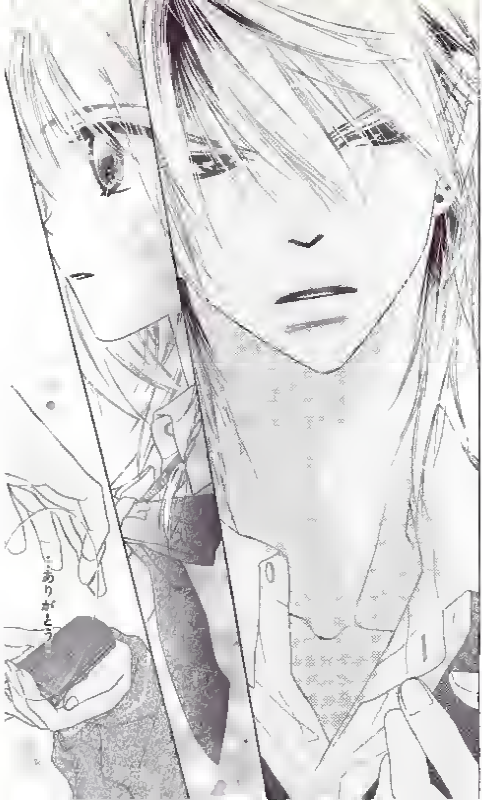
天文業務確率で出会えた 奇なる縁の大切は
ひと時に 少しでも楽しんでもらえると嬉しいです。

12月13日、
土曜日 11：34 AM
寒っんんん……
－10℃くらい？
たぶん
北東の風。
快・晴！

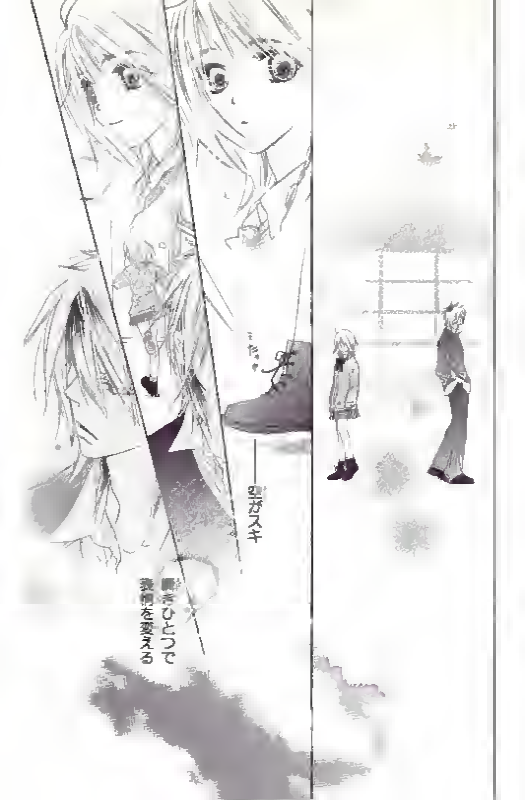
…てとこかな♪
ん！スキだなぁいくぃぉ空
これなら今晩も晴れますな！
こら――光っ!!
どこまでトイレ行ってんの！
あんたいないと鮮活にならんでしょ！が！
あーかっこい！空て…ついぃ。
この空バカ!!!最初(はじ)く前に…とっとと戻ってきなさいっ
うあいっ

たっ
先輩優しいな
大スキです!!
くまに睨まれてるだけでーっ
い・いーから早く一気をつけて!
「好き」がスキ
たったっ
つるっ
あっ?
たっ
ガシャーんっ
くるくる
あぁっ
ガッ
何かを「好き」になるって
とても温かい気持ちになるから
友達も
空も色も
みんな「スキ」
ごめんなさ――


なんの音？
錯かな
ひょい
れんだスラ？
誓かしいような音
細長な指


ありがとう

…大きな人…
ウチの兄のほかにもいるんだなぁ…

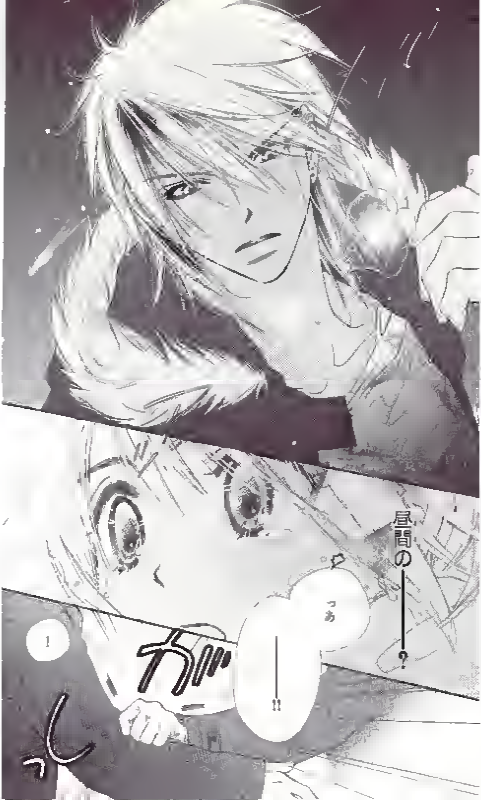

――空がスキ
書きひとつで
表情を変える

だから
目が離せないの
いってきまーす
いつまでたっても
心配性なんだから
本当にもう
お兄ちゃんがお風呂
入ったところなのに
いいの？
ちゃんと
あったかくした？
大丈夫？
いーのいーの
大丈夫！
近いし
すぐみんなと
合流するからさ
――街灯
22時消灯済み
月なし
浅界息吹
寒さ上等！
22
04
PM
東風天文部備蓄と
待ち合わせまで
約30分！

ちょっと
お先に～♪
…って
流れた
流れた!!
あ
キャー
キャー!
キレイっ
…そうだ
流れ星に
音があったら
あんな音かもなぁ…
あの

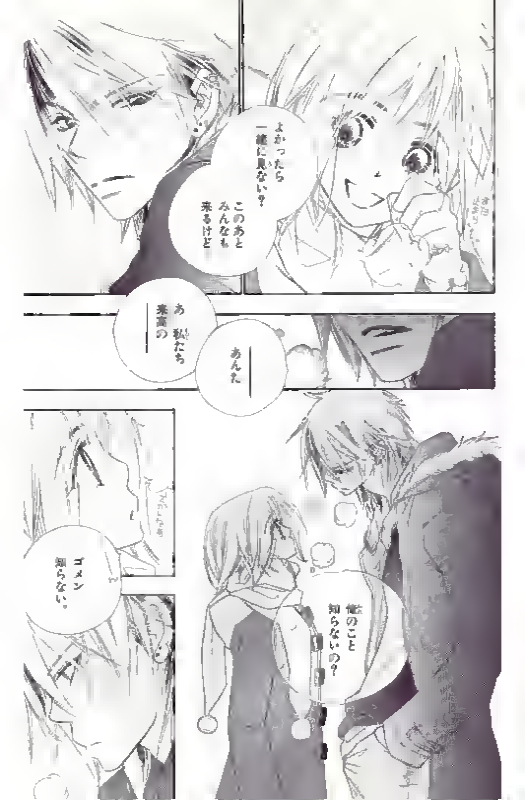
なんでキレイなんだろうなぁ
はぁ…
スッキリしたっ♡
みんなが来る前に退散しとくぞっとお！

ヒソ
ヒソ
あたっ
ゆ
え！
ごめん


昼間の――？
っあ――!!
!

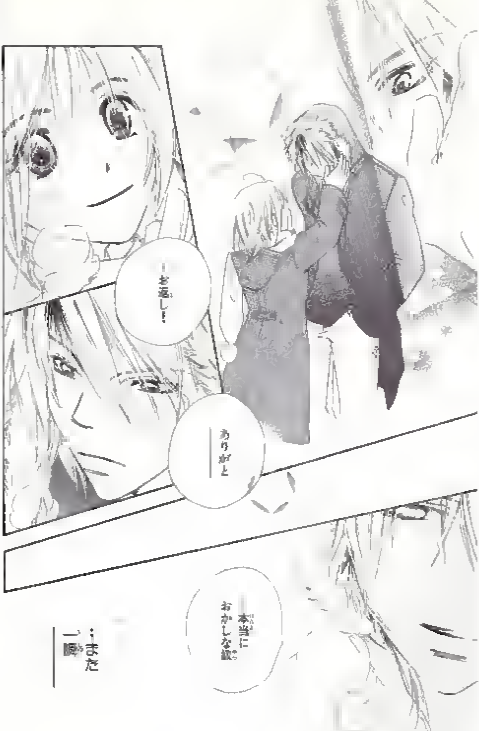
ほんとに
星の雫!?
間。
——なんだ
そりゃ

おかしな女
実つだ?
一緒すぎてよく見えん——
あ
ザ
ねっ
もしかして流星ー見に来てた?
ううん
別に


よかったら
一緒に見ない？
このあと
みんなも
来るけど
あ
私たち
来週の
あんた
俺のこと
知らないの？
ゴメン
知らない。

この公園？
たぶん
光もう
いるかも？
ザ
ザ
ザ
ザ
みんな来……

——あんまり
誰彼に
見せたいもんじゃ
ねえだろ
——じゃあな
待って！

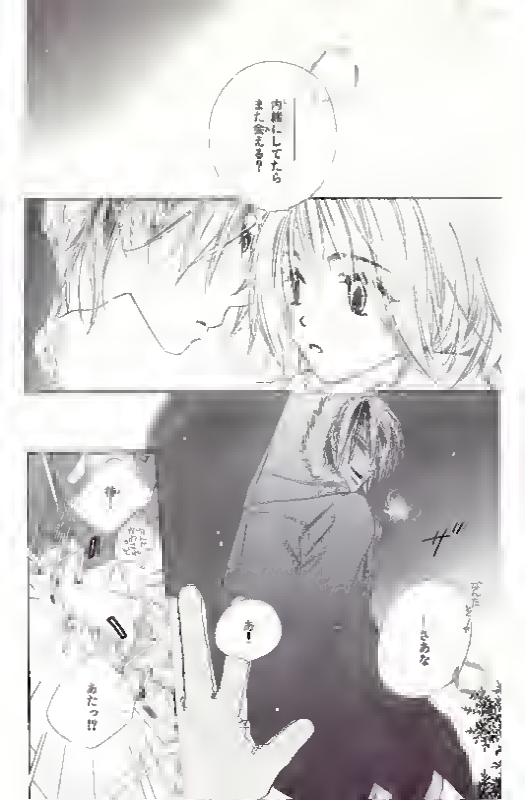

お返し！
ありがと
本当におかしな娘
…また一瞬

あ

"星の声"

時に声が見える
うたくせう――――

誰にも
言うなよ


内緒にしてたら
また会えるの？
—さあな
あ！
あたっ!?

？
？
あんまよばっか見てんなよな
かしこうき…
ぶつからないようにしてくれた？
いない
あっいた！光！
い！場所だね！

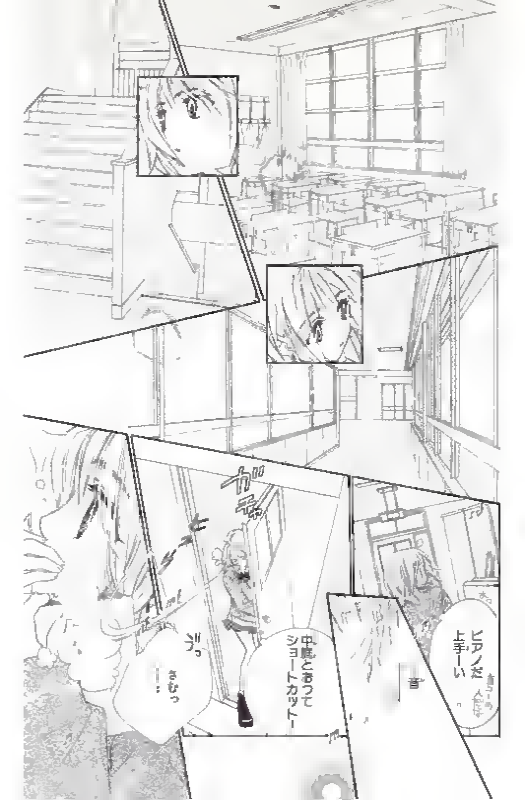
あれ？光一人？
誘ってしたから
くまと一緒かと
一人だよ
ほら私
独り言多いからさ
誰にも言うなよ
――それは
会ったことを？
それとも
「また会えるって」
とっさに
言っちゃったのは

もっと ちゃんと
見たいな
愛されたいなって
なんてお願ったから
内緒で
流れ星に
お願いしてみようか
今は空の
気前がいいから

1コくらい
お願い聞いてくれるかもよ

今日は何時頃終わるんだ
今日？うーん
コンコン
ガラ
おーい
さっきそこで司書さんが
お兄ちゃん怖っ!!
どこに行くんだ
図書室
本取りに行く
ゴゴゴ
あぁ？
妹になんの用だ。
いえっ南さんに言づてが
本入ったよって!!
オレが行こう
いいよ自分で行きたいの
じゃあオレも一緒に
いいって
しかし

もう二度と
"お兄ちゃん"って
呼ばないよ!?
ガラッ
ガラッ
放課しないで
帰っといでよー
珍しく
キレたね
あんな実姉兄じゃ
なるわな…
なんであんな
心配性なんか
ねー
あー見えて
光ちっと体
弱げだから
じゃん?
にしても あれじゃ
ムシがついたら
どーなることやら
光
もうすぐ
音楽コースクラス
定期演奏会だね
がんばってね~


ピアノだ
上手いー
音
中原とおってショートカットー
ザッ
さむっ

そういや
手帳出てたっけ
なんか
やったー♪

あはは
「雪やこんこ」だー
グッジョブ!!!
ずぶっ
ズコー

ふケツもろ打ったぁ～
ひねった
かぁ
フッ
あー鳩が見てたら飛んでくるぞー
ピアノ…止んだ——
わー!?
石井くん泥濘れ
痛っ
笑ずっ!!

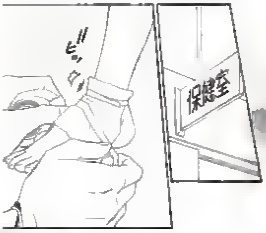
ドン
!!

いたー!!
あ…!
えと…?
この声は…
え
神出鬼没!
まるで忍者みたいな人…!

ええ？
ドドドドド
ドドドドド
ドドドドド

えっと？
え――っ
だ 大丈夫！
なので
聴ろ
――れ
え
黙れ。

あれっ……？



冷たい態じ
前と違う

…あとは
保健医呼って
きたら
診てもらえ

うん

あ

待って
コート

ガタ

この音…？

落ちて！

…あのね

ぎゅっ

…うて言ってごめ

「立つな」

…ごめん

——あの
また、海、星見に来る？
知るかよ
バタ
バタ
バタッ

光!!
大丈夫か!?
唯
ごめんー
あの音
これだったんだ
光っ
無事だった!?

大丈夫だよー
心配しすぎ～
麻生くんにラチられたでしょ!?
何かされなかった!?
麻生くん!?
いたでしょ!?
髪ブリーチのでかい男!
#"

「麻生くん」?
「知らないの!? 6組の
噂だらけの麻生くん
まあ あんた
そーいうの好きじゃ
ないもんね
ウラじゃ有名なヒトだよ」
「とにかく先生とかも
扱い注意!で
距離取ってる感じでさ」

助けてくれたよね？
「そんなの気まぐれだよヤスイっ」
ゼッタイ関わんないほうがいい女
「知るかよ」
また会える？見に来るね
「また」
「きみな」
――なんで来た…

…俺に関わるとロクなことねえぞ
早く帰れ
…でも

"知るか"って
言ってた
"さあな"って
言ってたから
じゃあ
来るかも
なら
今日は柔
原生くんと
見たいなと思った
から来たんだ
これも
渡したかったし
ん
ほんとに

おかしな奴だな
追崎晃る
空
その表情・・・「スキ」だな・・・
ガーン

…そっちから来たんだ
何されても文句言えないぜ？
空に似た人だから。

わからないけど
うん
なんだか目が離せないよ

# 1話／ウラ・オモテ

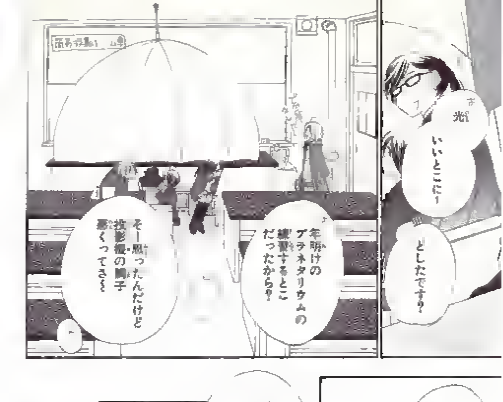
「誰にも
言うなよ」
「――何されても
文句言えないぜ？」
「うぅん…」
空の星から見たら
ほんの小さな涙

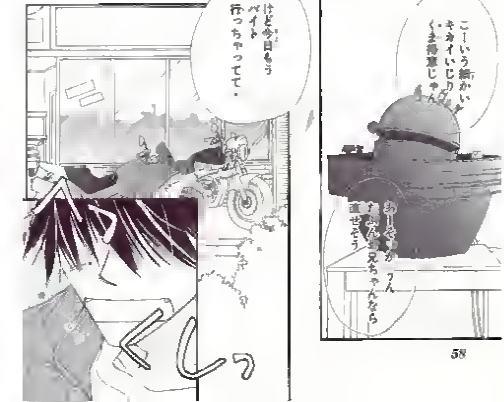
## 麻生くんと双葉くんについて みようかな的。①

この作品は何かと生意気ってる君塚をしてうっ…して
双葉くんのお題で、ユウボーンしてみようかと。
ゆるい感じでつくるよゆるゆると　さをさ～。

作者名 Penguin Bar
読んでくれたら嬉しいな。

あいつ あんましゃべんねーしなぁ
なんつーか 雰囲気あって どこか とっつきづらいか
イコイコ 近寄り難い人だよね
兄がヤ○ザ系のやばい人って 聞いたことが…
あんま家見ないのって 病院送りにしたとか されたとかでま
えー 私が聞いたのってさー
こんちはでーす
ガラ
物理研究室
天女神。
そんな彼は ダークな魔王だったりした


光
いいとこにー
どしたです？
年明けのプラネタリウムの撮影するとこだったから？
そー聞いたんだけど
投影機の調子悪くってさ～

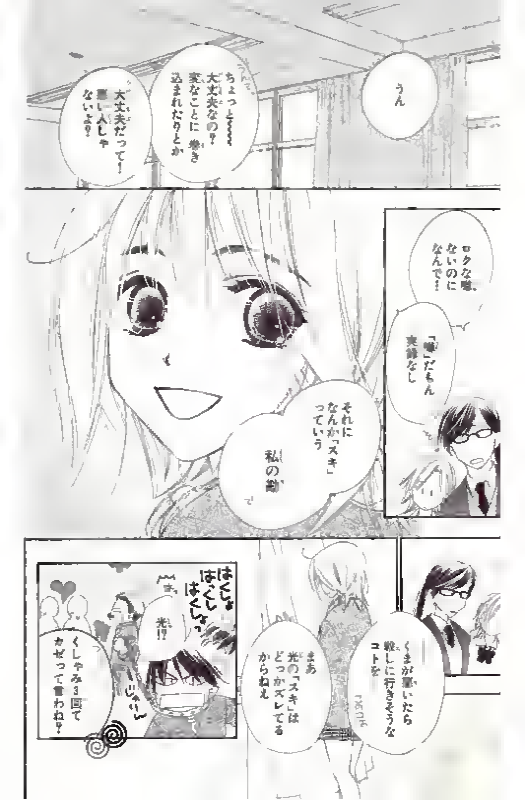

こーいう細かいキカイいじりは
ま得意じゃん
おしゃべりが うん
すみっこ又ちゃんなら
直せそう
けど今日もうバイト行っちゃってて・

## ソラログ①

なんだ唯
カゼか～
や
違うっす
しゃ喜きなコが
喋ってもしてっか？
光？
今行く!!
そーいう
イキオイで
行かんでいい
ガバッ

まっ
もう古いし
しゃーないか
明日
周辺機器も
見に行こっか～
久々に
買い物ー遊び
メインで！
賛成!!

つか光
なんか
麻生くんのこと
聞き回ってる
みたいだけど


うん
ちょっとぐらい
大丈夫なの？
変なことに巻き込まれたりとか
大丈夫だって！
悪い人じゃないよ？
ロクな噂ないのになんで!!
「噂」だもん
実録なし
それになんか「スキ」っていう
私の勘
くしゃみが聞いたら殺しに行きそうなコトを
まあ光の「スキ」はどっかズレてるからねえ
はくしょ
はくしょ
光!!
くしゃみ3回でかぜって言われね？

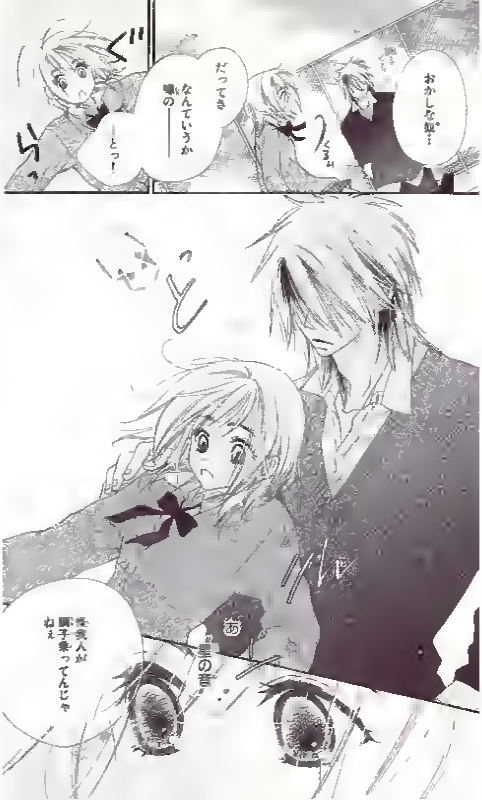
麻生くん
天文部に
誘うねー
は!?
麻生くん?
休み時間とかも
消えるしな
もう帰ったん
じゃね?
今日
見てないかもー
さっきあっちで
見たよ ちらっと
本当の君は?
麻生くんが

麻生くーんー
すたすたすた
てててて
おーい
どよっ
あやーくん
って
ばー
つ
ん
よろっ
おっ
！

なんだよ
うん
あのさ
天文部！
入らない？
別に
断るじゃあな
きっと
楽しいよ
星好きでしょ

用心棒とか！
え！と
あと！
お前ちょっと
こっち来い
ん？
いーから
カネ貸せ！
そう
言わずに！
言う
男手
足りないしさ
知るかよ

やっと
こっち向いた
う―んと
ダークな魔王の
衣装…かなぁ
お前…
何考えてんだよ
あのな
ていうか


おかしな奴！
くるま
だってさ
なんていうか
男の
——
とっ！
あ
星の音
電気人が
調子乗ってんじゃ
ねえ

ほらね
今日もいい
昨日もいい
「何されてもいいぜ」
「うん」
——とかって
妄想ってくれたり——
たくさん助けてくれてて
だから俺の
最高カゼロ！って
なんでだろなって!!
別になんだっていいだろ

人は
見たいようにしか
見ないもんだ
勝手に
言わせとけば
いい——
それは
とても
きっぱりした
声
あ！
同感～
も見とギキてる説
流れまくった時、
それで乗り切った
なぁ

とにかく
学校で
俺に構うな！
バタン
あ
「見たいようにしか
見ていない」
止めた
涙

飛行機…
あ…
俺の…
死ぬ…
「嬉うな」
激しいような
この俺の
雷撃エガオ
見れなかったな
ちっ
――何か

理由があるのかな…
あ……
世間はもうすぐXmasだねぇ
彼氏の一人もいない私らってさーむいね
まぁ今日は疲れたし帰ろ帰ろー
あ…うん…

あれっ、
麻生くんじゃん
うっわ、

見るからにヤバそーな集団といるね
マジだねー
こっわ!!

ほら～
案外
光やっぱり
関わんの
よしなよ～
行こっ
うん――
しゃあ俺
そろそろ戻る
なあ
湊人

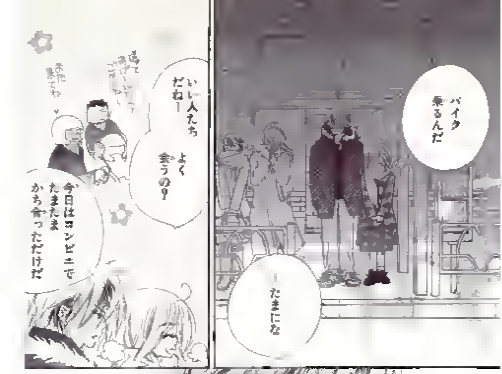
そのコ誰？
ぴょこっ
こんばんは～
麻生くんと友達の光です！
にこっ
若いムスメ
誰が友達だ
最悪の幕開けじゃねーか
オイ
うん
ここ学校しゃないじゃん

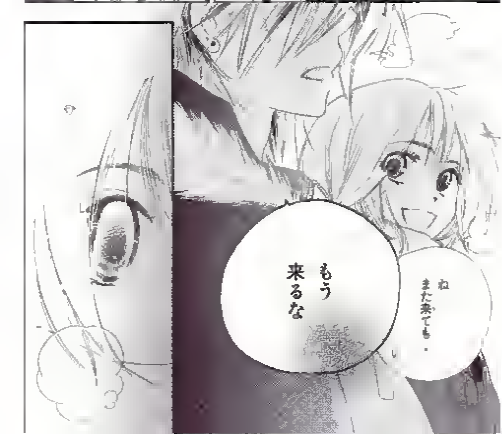
## ソラログ①

そーいう問題じゃなっ
どーもっ
オレらも素人の友達よろしくねっ
みなさんツーリング帰りですか？
おっよくわかってるねー
見るのバイク好きでいろいろ～

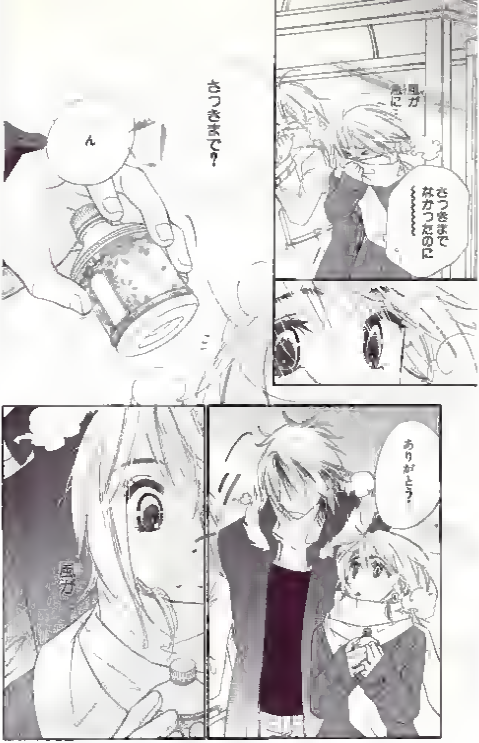
フツーに順応すんなー
ちっちゃいよ
ここかな？
さむ…
あ…
あ…
あ…

18


バイク
乗るんだ
たまにな
いい人たち
だねー
よく
会うの？
今日はコンビニで
たまたま
かち合っただけだ


もう
来るな
ね
また来ても・

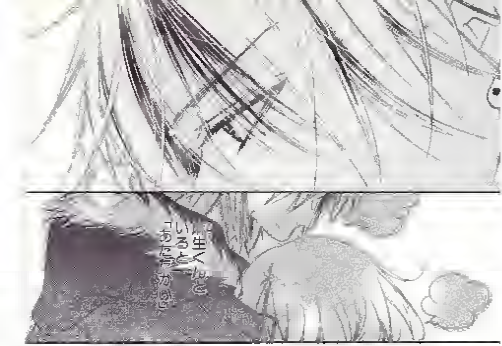
あそこにいた時はいーカオしてたのにな
あと何分だ？
笑っちゃった
15分くらいかな
ここにいろよ
うん？
ヒュ


さっきまでなかったのに……
風が急に
さっきまで？
ん
ありがとう
風が

止んだ…

かわいい
獣みもの・・
気遣ってくれたんだ
「あとは任せろ」って
またも置いてかえ
「嘘」
あはは
わかった！
はあ？
わかんないけど
わかった

優しいんだ
すごく
なんだか
うれしいな




ちょっと
「スキ」の気持ちに
似てる

見たいのは

うん
光くん
おはー
くま兄は
まだカゼ？
うん
南さん
南さーん
朝から
ごめんね
小泉センセ？
あ、種村の
領収書なら
あとで届けに
行くって
それもそう
なんだけど
ちょっといい？
？

許斐 液
麻生くんと駅前にいたって本当？
あー
はい
誰か見てたのか…
その
アブなそうな人たちといたって聞いたからね
あ
全然！違いますよそんな人たちじゃないです
そうなの？
ならいいけど…
でもほら麻生くんは
あまり…ね
みんなの聞いていいふうに聞かないから
青さんが一緒にいるの先生心配でねぇ
嘘を信じるの？先生
――先生って…
でもねでもね
あなたが裏影響受けてしまったらと思うと
だからそうじゃなくて

確かめもしないで
どうして決めつけちゃうの？
先生
こいつは何も悪いことしてないし
これからだって悪くなるわけない奴だよ
あんなに優しい人なのに

先月は偶然会っただけだ
悪いのは俺たけにしといてよ
麻生くん…？
先生もヒドイよ
けと麻生くんあんなふうに言ったらまた
もう二度と近づくな
え？

嫌なんだよ
まだ何か
近くにいんの
嫌なんだよ！
っ……
関わる奴が
俺と同じように
見られてしまうのが

俺は別にどうでも…
いちいち説明すんのも面倒くし
いい奴だったりするといろいろキツイ
けど相手にとって重要だったら…
――まして
お前
女の子だから

他人を頼って
――私を見つけてくれて
「嫌う な」
それが理由
もう行け
夜の空のむこうに
一人
人を寄せつけないように
嘘の笑顔で隠して

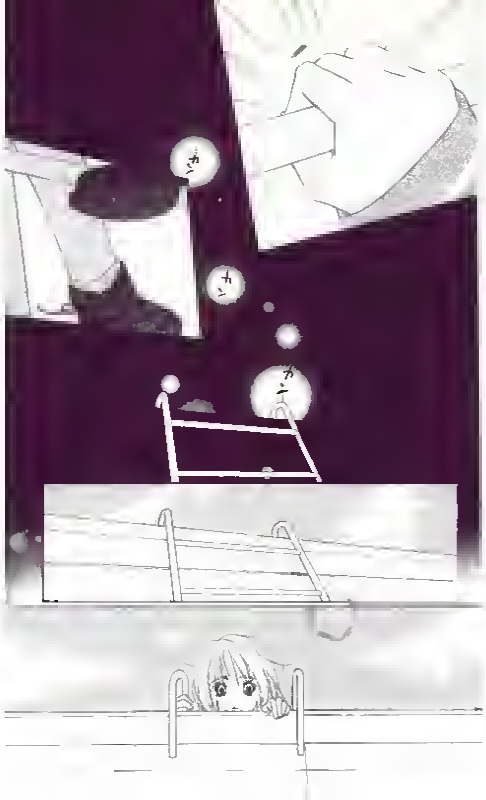
もしかしたら

そのことで傷ついたこうがあったのかもしれない

優しい人だから

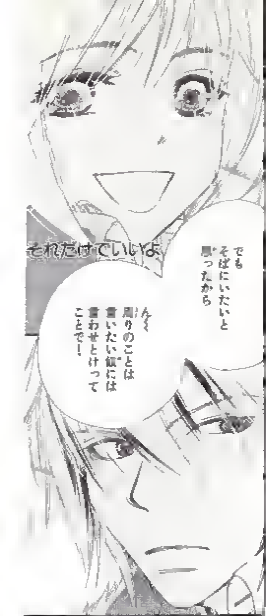
私は

そこに上足で踏み込んでしまったのかもしれない


ガン
ガン
ガン

…行けって
言ったよな

うん
コク
そっちから来たら
何されても
文句言えないぜ？
コク
昼と夜
表と裏
本当の君はどっち？




どっちでもない

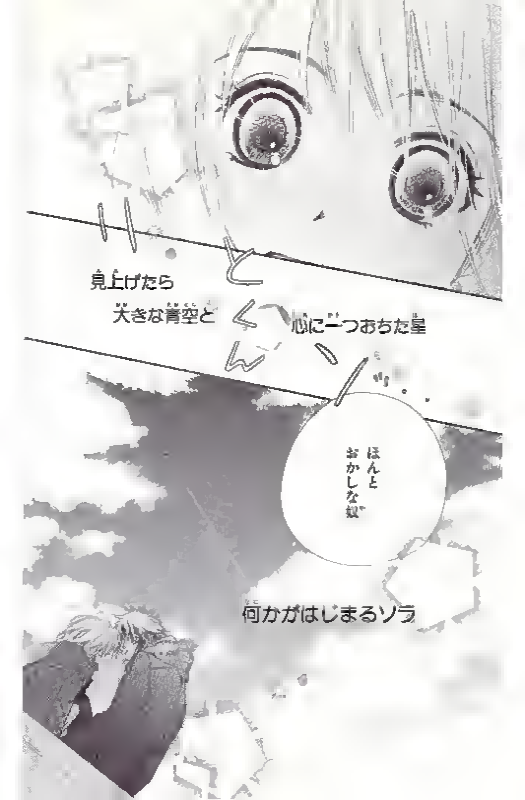
すと

ん

うん

今
ここにいる君が本当

お前みたいなの
初めてだよ

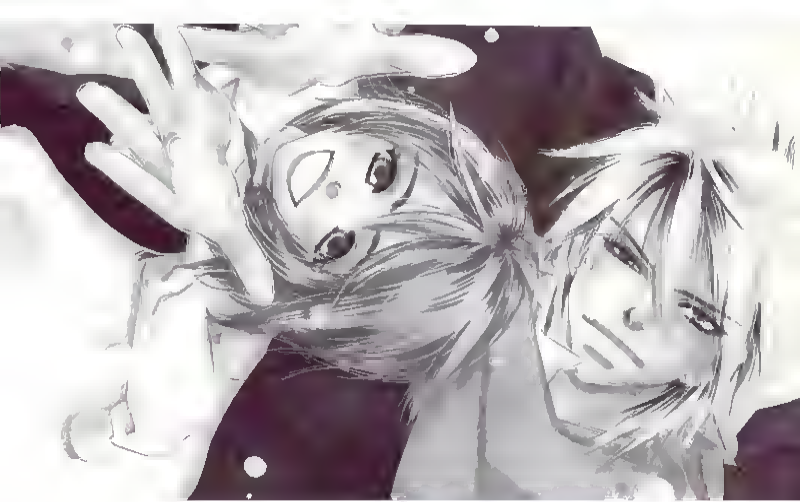

見上げたら
大きな青空と
心に一つおちた星
ほんと
おかしな奴
何かがはじまるソラ

# 2話／キラキラ

青空　喜び　笑顔
くもり空　モヤモヤ
雨　涙　雷　怒り
嵐　雪　虹　朝焼け　夕焼け
星空　…　色々いろいろ。

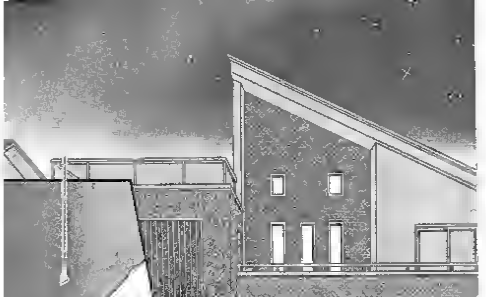
空模様はまるで心もよう

ひろく深く
はかりしれない

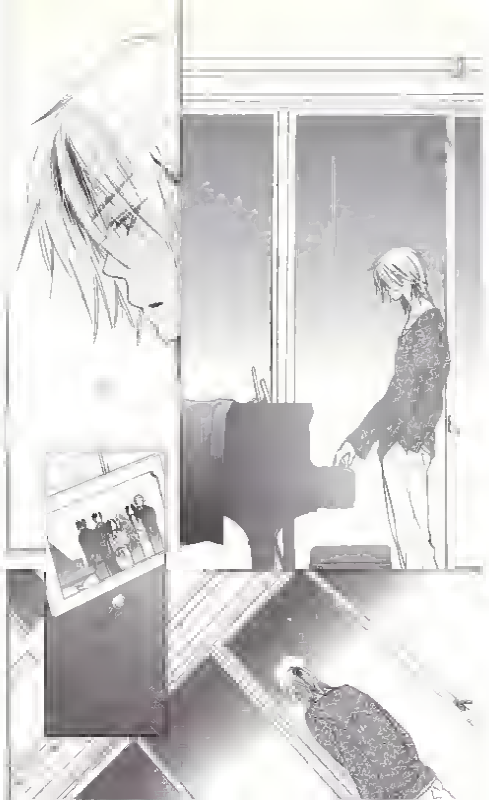


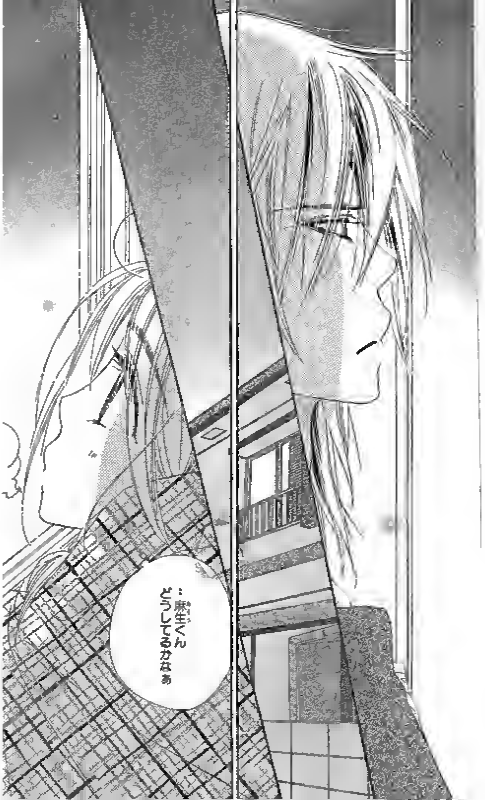
# 2話／キラキラ

## うらばき Back yard



休日の過ごし方。②
うちのFAX番号後。
2枚前ちょっとの
俺のイタズラ書き
5枚、
まるまる
市内限定の
携帯にだけ
電話がかかる
しくみ
仕事ができるそうで
モテモテない俺様。
ヤロウ。




：康生くん
どうしてるかなぁ

冬休み入ってから
見てない
会いたいなぁ
でも
少し空
見てるかもしれない
だったら
いいな
光
まだ
見るのか
うん
もう少し
もう1枚
いる？
平気
。

風邪
ひくなよ
また
前みたいなこと
あったら——
あんな思い
もう絶対
させないよ
大丈夫
心配しないで

そーだよー
キャッ
――だよな
あっ
流れた！
"星の音"

雪を見るたび
思い出す
幸生くんと初めて会った日
買いた飴
ね 唯ねえ ちゃん
小さい頃 飴持ってた？
飴？
さあ
なんだか すごく
懐かしく感じたんだけど
今日は もう おしまいだ!!
ねぇ!?

くしゃみ2回
最初の春！
いーやまとは
2回でひいた！
って2回
でしょー
星が綺麗なような
あの日の笑顔から
きらきら
私の心の中で
聴こえてる

すごい人だね――！
そりゃ大晦日だもん
あ

ごめん
知り合い
めっけた！
光？
よい
お年を～！
――ぱっ
きらきら
今なら
どこにいても
見つけられそう
って
あれっ
きゃ
きゃ
きゃ
きゃ
あっ
おわっ!?

何してんだ
お前
ちっこい奴の
新しいアソビか？

ドキ
遊びじゃないって！
それに私、練習…
そっちがでかすぎなんじゃん
そーかよ
ドキ
…麻生くんだ
ドキ
びっくりした…
一人？
まーな

麻生くんだ
会えたあ
お前も一人？
――おい？
（後ろから）
え
あ？
うんぴ
――あ――一人っ
そ
君の声が
姿が
周りの空気まで

なんか
すごいぞ
空の星
一つ一つみたいに
光ってる
このまま
一緒にいて
いーかな
無かなあ
しゃ
一緒行くか
え？

スゲー
遠いけど
ついでに
年越し
へ
やった――――!!
うん!
行こっ

私もそー思ってた！
は
なんだそりゃ
あ
除夜の鐘の音

ボンノー退散！
っ！
か
「好き」がスキあつたかくて
ドン
気ィつけろコラァ！
あごめんなさい
みんな同じだと思うてた

……

ちょっと
ちょっと

ん
ぐぐぐ
違うけど

ギュー
あったかくて
あつくって
特別な「好き」があったよ

私の「特別な好き」
彼はコワ面だけどすんごい優しい人。

HAPPY NEW YEAR
あけまして
こんなうれしい気持ちなら
早く気づけばよかったな
君にもっと入りたい
知りたいことたくさんある

今年は
もっと君に近づけますように…

あー
星！
一等星！
あれは
…スピカ？

だな

まあ
そんな時間
だもんな

那生くんやっぱ
星好き？

だよねっ

しまった

こんな ふうに

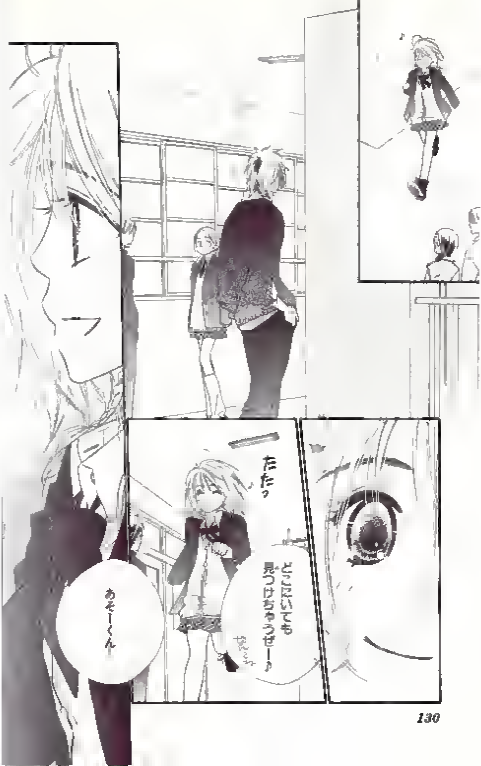
同じ景色を
見えるように
いつか、
同じ気持ち
持ってくれたらいいな。
あけまして
おめでとう

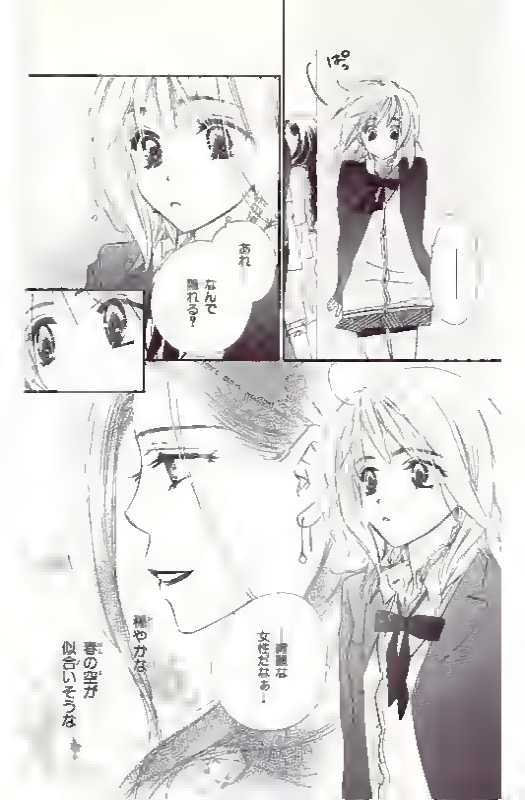
3学期
学年最終学期の
始まりです
受験や進路への
大切な時間を
あ
ざわ
ざわ
麻生くん
発見

ぶんぶんっ
光？どしたー
学校しゃつれないなぁ
なんでもな。

がっ
ぱっ
わっ
光くん
不意打ち
うっかり
ちゃいそだ
なんでも
ない！

じゃなくても
うかれるよ♪
私にだけ？かも
しれない笑顔に
快調♪♪
光
先行ってんよー
うぉいっ


あそーくん
フ
たた？
どこにいても
見つけちゃうぜー♪


ぱっ
あれ
なんで
隠れる？
清廉な
女性だねぁ…
穏やかな
春の空が
似合いそうな

ドキ

ガラ

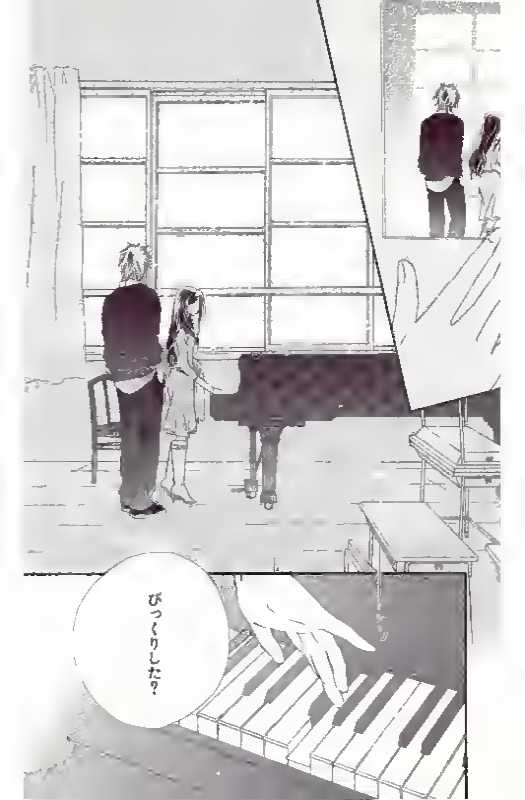
また雲隠れ…

家庭

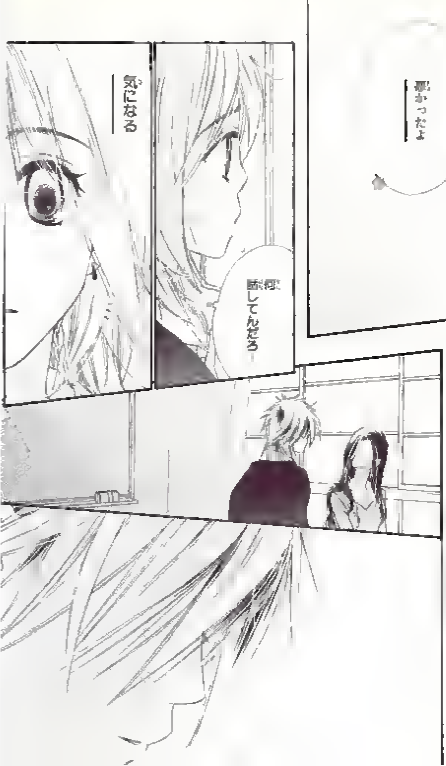
あ

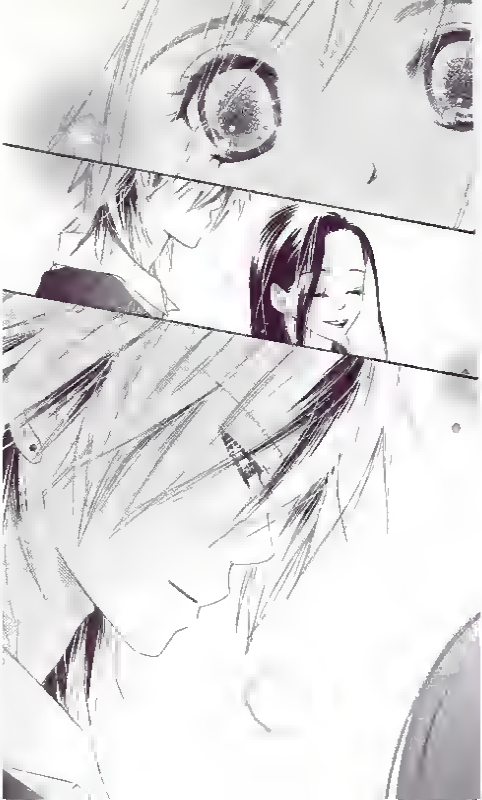
パ

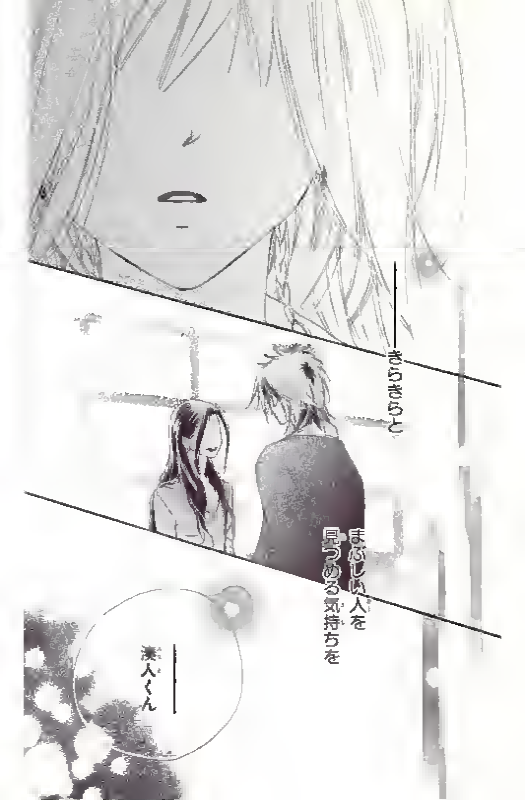
とたた


びっくりした？

フッ
――するだろ
そうね
でも先に
置かせたの
あなたのほうだから
おあいこよね

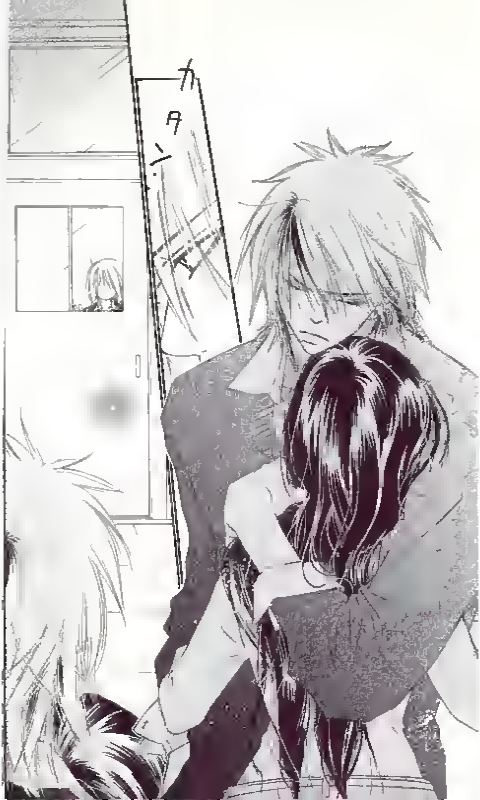

聞かったよ
何話してんだろ
気になる




きらきらと
まぶしい人を
見つめる気持ちを
凛人くん

私は知ってる——

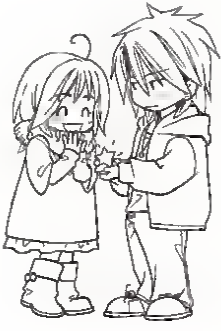
私の気持ちは
わかっているわよね


カ
チ

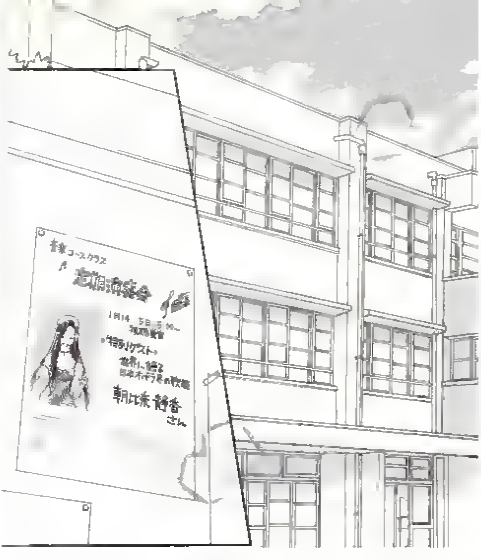
知ってしまっていたから

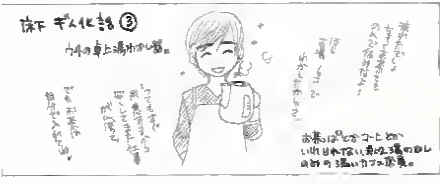
まずい…まずい人がいるってことに

まずい…まずい人がいるってことに

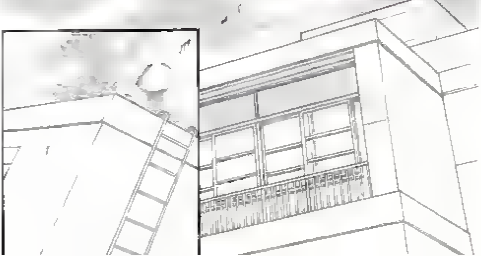


3話／スキ・コワイ

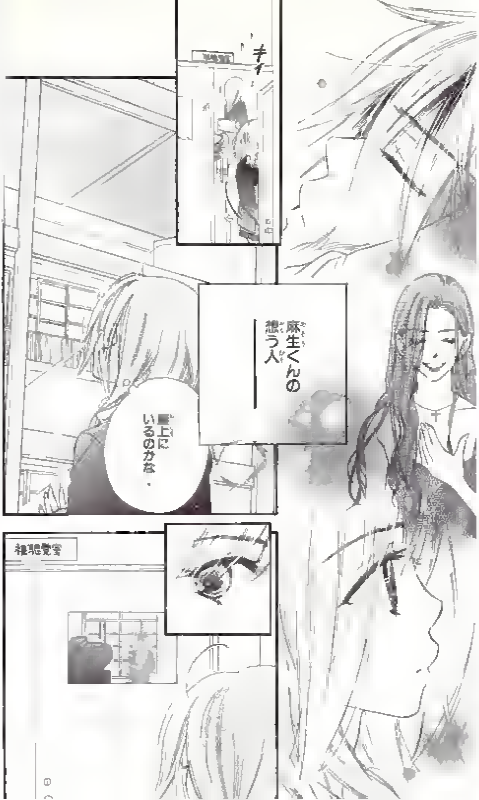

朝比奈静香


休下 ギム化話 ③
ウチの車上場かい場。

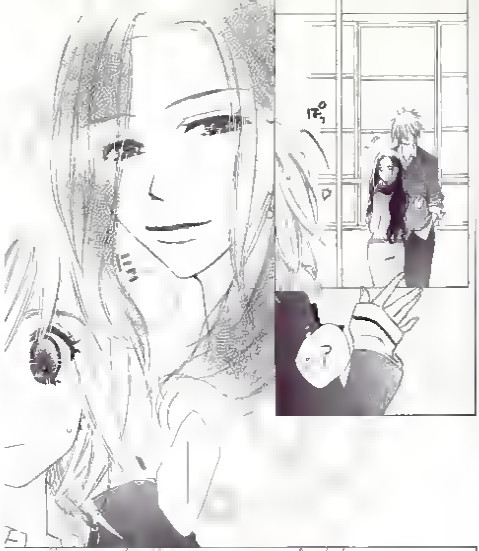
視聴覚室

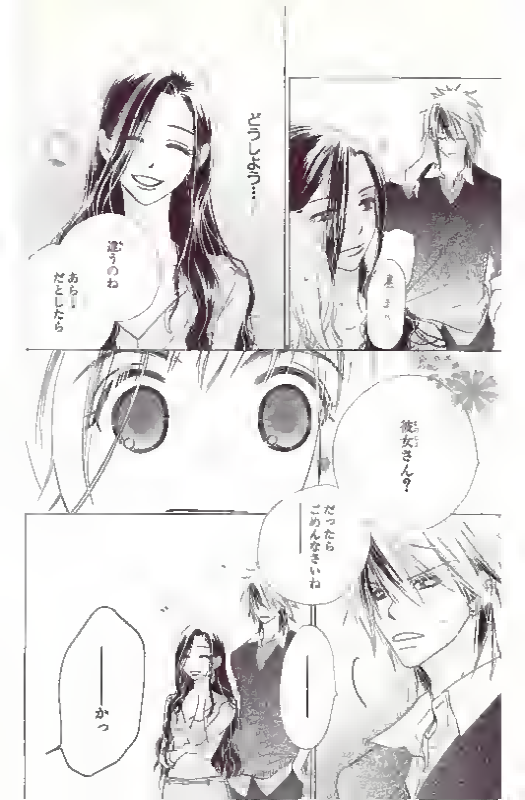


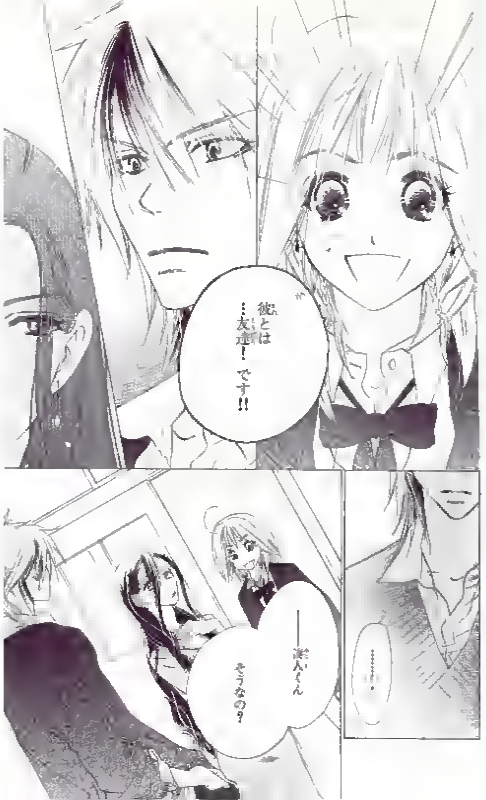
この女性が


チャ
麻生くんの想う人
屋上にいるのかな
相馬教室

もの凄く


ぽっ
？
音楽クラスの生徒さん？
ピアノの練習にここ使うのだっていうし？
カラ…
あ
いえ


恵さん
どうしよう…
違うのね
あら…
だとしたら
彼女さん？
だったら
ごめんなさいね
――
――
――かっ


彼とは
…友達！ です!!
……！
――達人くん
そうなの？

――あぁ
ツキン
このんとは
俺と
ドキ

!? あ——
ウーロン茶に
○ブシと
のむヨーグルトに
のむしるこ
ポテチ おせんべ
チョコに団子
苦仁とかとかー
……イヤ
だよねー
あっ唐生くんも
あとで来る?

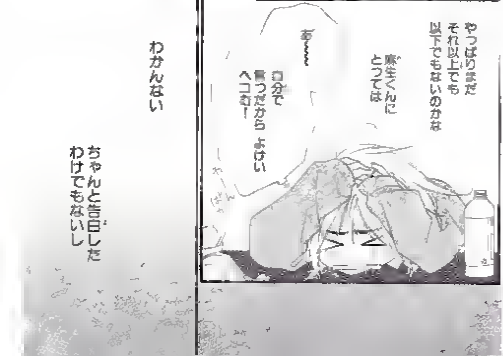
じゃっ
そゆコトでっっ!!
——なんて…

とりっ
物理化学室
天文部
ばっ
ばっ
ばっ
ばっ
ばっ
ばっ
あれから三日
麻生くんには
会ってない
——今も
思い出したから
麻疹事実に
してしまおうかと
光一？
光一？
もぐ
もぐ

"調布特別調査"とかであの人はまだ学校にいる――
あー、そだ先
男のオペラ美女と麻生くんすげー噂になってんね
今カノ？元カノ？
彼氏？不倫相手？
ヤバイ筋の令嬢とその令嬢専属でボディガードに就任したマニアスー
聞けなかった
不動の魔王のそこんとこどーなの？ひか
ぐばっ
げぼ
げぼ
けほっ

ぱたん
本当は聞きたかった
あの人は誰？
どんな関係!?
「友達！です!!」

「友達」
手はつないだけど……
——そりゃあそのとおりで…
あぁ…


やっぱりまだそれ以上でも以下でもないのかな
麻生くんにとっては
ぁ……
自分で言ったからよけいヘコむ！
わかんない
ちゃんと告白したわけでもないし

私が勝手に好きなだけ
私
彼生くんと
どうなりたいんだろう

――わかってるのは
麻生くんの"想い"
わかるから
あの時

「この人が好きって
言われるのじゃないかって
逃げた
それを聞いたら
何かがなくなっちゃう気がして
怖かったから――
光
今日 あんたの兄貴
家庭教師 修業
来てくれるんじゃ
なかったっけ？
うん
遅いね
探してくる

モヤモヤだ…
ガラ…
心曇り模様
青い空がちょっと憎らしい――

渓人くん
有名人なのね
…別に
——で
あっちが
一般校舎
あの女のコ
見ないわね
私また
会いたいわ
別に
那比奈さん
いいから
見てもらいたい生徒が
はい
「友達」
なんでしょう？
名前は？
同じクラス？

また
あとでね
そうだ
あれ持ってるの
でしょう？
聴かせてね

ソラログ①

ガラ
失礼しまーす
校舎裏
ガシッ
工藤君ってたら
時間くった
「おりちゃんをら
できるよね
後処理お願いー」
待ってろ光ー
今すぐ行って
カッコよくお兄ちゃんが
直してやるからな!!
非兄離れ断固拒否!!
ほっ
しかし最近
よからんムシガ
ついてると情報が
ついてると情報が

ドン
ぐっ
なんだ？
酔っ
悪い
うー
や

あれ？
こいつ…？

ほ、ハイ
光について聞いてる最新のムシ!!
光。
紗!!

…いや
どこかで会ってる気がなんだ?

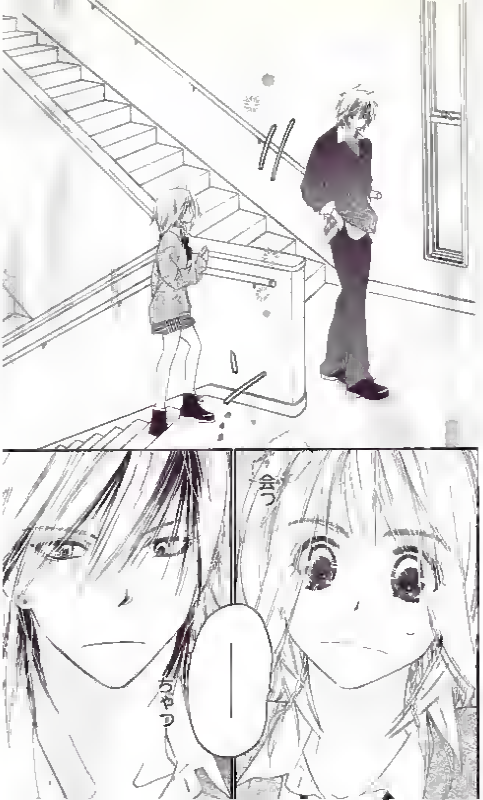
あ――!

妹がケガした時、
遠くまで
あんただったな
あの時は
本当に助かった
遅くなったが
兄として
礼を言うよ
—ああ
別に。

沈黙
じゃあな!!
おやすみ
ああ
「おねえちゃん
新婚ってた?」
ゆうべは

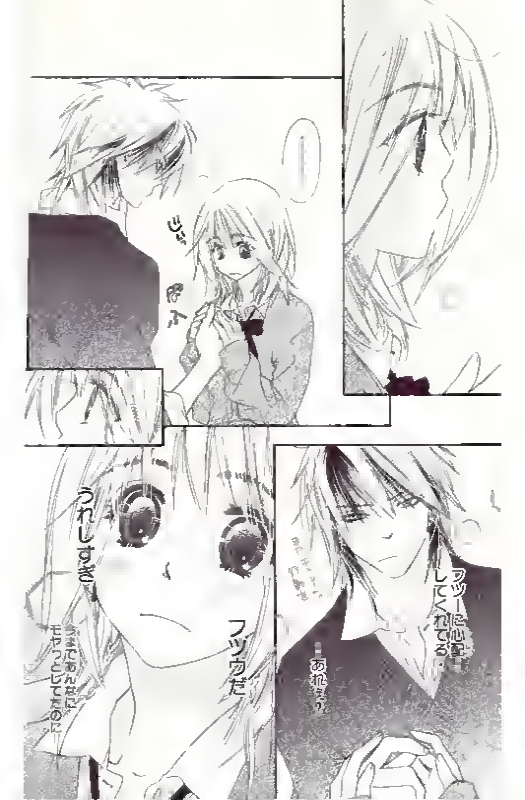
ぱ!!
ア

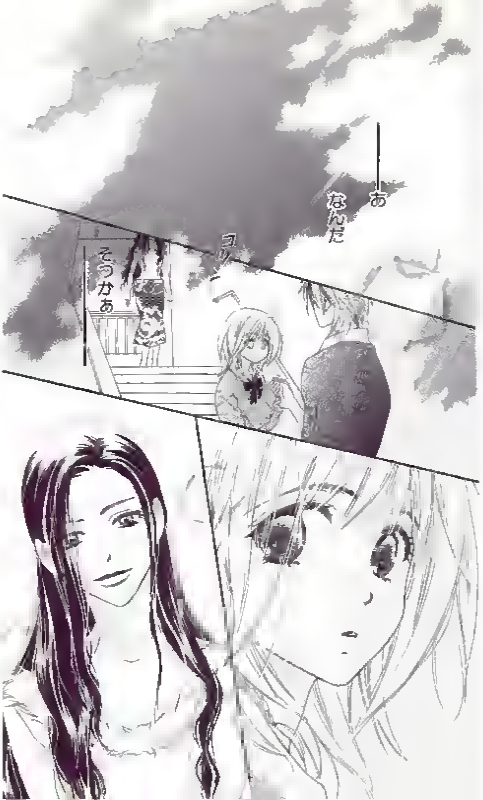
あいつ…!?
ケータイ
忘れてた
兄よ
どこへー
クラブにも
いないしー
ふら
ふら
空ー
写真撮ってないなぁ

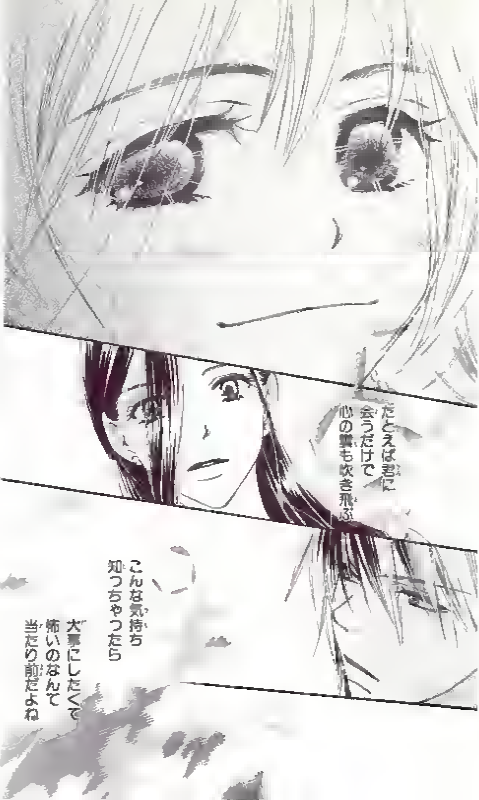

会う
うっ

だぁ——っ!!
ドキー
…どうしよう
何もしゃべんないのも変だよね
ドキ
すぱ
しゃべられろのも怖い…
ドキー…

：あれ？

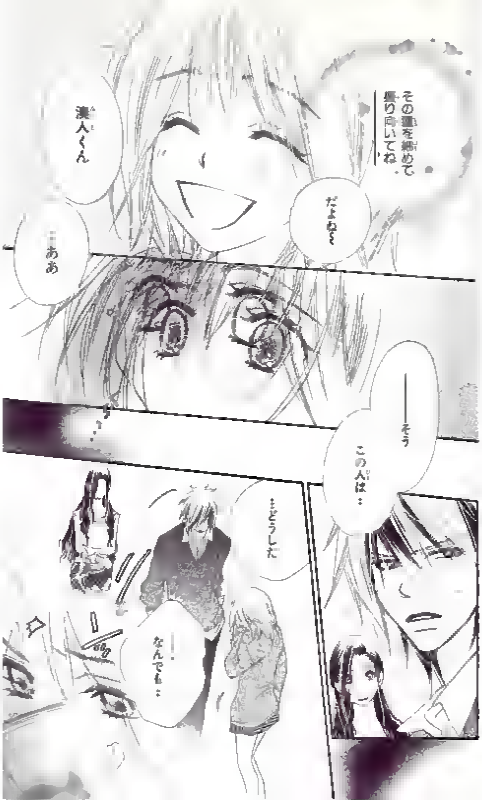

フツーに心配してくれてる…
あれ…？
フツウだ
うれしすぎ
うまでもあんなにモヤっとしてたのに…


あ
なんだ
ヨリ
そうかあ


たとえば君に
会うだけで
心の雲も吹き飛ぶ
こんな気持ち
知っちゃったら
大事にしたくて
怖いのなんて
当たり前だよね

初めから
勝手に近づいた
でも
許してくれた

だからとことん
勝手でもいいよね？
えへへ♪
まあ
おかしな娘だよ
お前は
うん
ま…
そのほうが
らしい
——いつかでいい


その調子で
振り向いてね
漱人くん
だよぬ～
…ああ
――そう
この人は…
…どうした
なんでも…

あ

ヤバ…

——この感じ…

…鈴

この音

ったす

休む！

首
ぐっ
ぐっ
ぐっ
だけど
思い出したくない
おい……!?

ひとまず1冊の形でした。
いつもの1巻いかがでしょうか。

また、この場でこれを事ができるとは思いませんでした。
本当に嬉しいです。

元々作者が学生だから
学生が一つのテーマだった
初めも今年2009年は
「地球文化年」だったので

ゆるりまったりと進むこんな
(笑)な物語ですが
物語を見守ってもらえたら
幸いです。

どれくらい
家族、友人、担当様、あなた様
私を支えてくれる全てに
感謝します。
まだ1巻ですが
今後ともよろしくお願いします。

09 2月 千歳

知ってる
この手
この音
この匂い
どこ…
だっけ…
あいつは…
俺をおびき出す
エサだ!!
次巻予告
隠されていた秘密…そして近づく気持ち。
次巻、甘くセツナイ事実が…!?
ソラロク 第2巻
2009年9月25日ごろ発売予定!!

# ソラログ①

ベツコミフラワーコミックス

2009年4月29日初版第1刷発行　（検印廃止）

著者　みつきかこ

発行者　横田　清

「ベツコミ」2008年12月号～2009年3月号掲載作品

連載担当者　古川麻子

単行本編集責任者　前田　彰

単行本編集者　古川麻子、久本康子(A-ark)

発行所　株式会社 小学館
〒101-8001　東京都千代田区一ツ橋2の3の1
TEL 販売03(5281)3556　編集03(3230)5459

印刷所　加藤製版印刷株式会社

■造本には十分注意しておりますが、落丁・乱丁本（ページの抜け・順序違い）の場合は小社制作部（フリーダイヤル0120-336-082）にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。
■本書の全部または一部を無断で複製（コピー）、放送等をすることは法律で認められた場合を除き、著作者及び出版者の権利の侵害となります。ただし、小社インターネットサイト内「ご利用案内」ページ内の「日本国内権センター」または出版物の「海外複製」について、下記「著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書をコピーされる場合は、事前に日本複写権センター（JRRC TEL 03-3401-2382）の許諾を受けてください。

**アンケートのお願い**　小学館アンケート係
●小学館のコミックス、雑誌についてのアンケートをインターネットで受け付けております。
http://www.info.shogakukan.co.jp にアクセスしていただき、
このコミックスのキーコード S132358 を入力してください。
●今ご回答者の中から、毎月500名の方に粗品として「小学館特製図書カード(1000円)」をさしあげます。
●発行日より6か月間有効です。（携帯電話からの応募は対象外の場合もございます。）ご協力お願いします。

©Kaco Mitsuki 2009

PRINTED IN JAPAN

ISBN978-4-09-132358-3

9784091323583

ISBN978-4-09-132358-3

C9979 ¥400E

19299790040O2

定価：本体400円＋税

雑誌 46033-58　小学館